

伸びゆくアジアへ、九州から環境の新しい風を

2011年度 九州－中国山東省 環境ビジネスミッション

—九州と中国山東省の環境関連企業が157件の商談を実施!—

K-RIPと山東省人民政府との環境産業交流に係る覚書（平成22年7月締結）に基づき、K-RIP及び九州経済産業局は、平成23年12月14日（水）から17日（土）の日程で、山東省济南市へ環境関連企業など16企業・団体、総勢31名（団長；鶴田暁K-RIP会長：環境テクノス社長、顧問；滝本九州経済産業局長）を派遣しました。

今回の環境ビジネスミッションでは、汚水処理場等の「現地視察」、「セミナー」、「MOU調印式（以下参照）」、「商談会」を開催しました。

また、山東省人民政府と今後の環境産業交流について意見交換を行い、より具体的な交流事業の実施について、K-RIPと山東省環境保護庁が新たに覚書を調印するなど、さらに相互協力していくことを双方で確認しました。

なお、「商談会」では、济南市、青島市、徳州市、濰坊市、淄博市等から約50社の企業が商談会に訪れ、合計157件もの商談が行われ、中国企業の関心の高さが伺えました。商談案件については、今後、K-RIPのコーディネーター、ジェトロ等が、成約に向けて総合的にサポートしていく予定です。



[左：MOU調印式風景・・・向かって右側が鶴田K-RIP会長、左側が張 環境保護庁長)、
右上：環境ビジネスセミナー、右下：環境ビジネス商談会]

1. K-RIPと山東省環境保護庁との個別事業等実施にかかるMOU

2010年7月、K-RIPと山東省政府は、九州地域と中国山東省間の環境産業交流にかかる包括的な覚書（MOU）を締結しました。このMOUに基づき、2010年度、K-RIPは同省青島市との間で、ミッションの相互派遣を実施しました。

その後、両地域の更なる情報交流、企業間交流、人的交流を進めるための事業実施の必要性が高まり、今回のミッションにて、具体的な個別事業等の共同実施にかかる覚書（MOU）を締結しました。（署名者：（九州側）鶴田 晓K-RIP会長、（山東省側）張波 環境保護庁長）

なお、合意された主な個別事業等については、以下の3つです。

- (1) 第5回緑色博覧会（2012年9月、山東省で開催）における九州側からのミッション派遣および出展促進等の協力
- (2) エコテクノ2012（2012年10月、北九州市で開催）における山東省側からのミッション派遣等の協力
- (3) 環境問題の解決に向けて、専門家を交えた意見交換、調査事業等の共同プロジェクトの検討・企業の参加支援等の協力

2. 「九州-山東省環境ビジネスセミナー」の開催結果概要

K-RIPと九州経済産業局は、山東省政府の協力を得て、環境分野における九州と中国との経済交流の推進を目的として、セミナーを開催しました。

本セミナーでは、九州地域の魅力をPRするべく、九州の環境・エネルギー産業やバイオテクノロジー産業等リーディング産業の紹介、K-RIPの事業概要、先進的な環境技術を持つ九州企業の紹介等を行いました。

参加者からは様々な質問が寄せられ、両地域の交流に向けた関心の高さが伺えました。

なお、参加者は約180名（うち日本側31名）でした。

3. 「環境ビジネス商談会」の開催結果概要

上記ビジネスセミナー終了後、K-RIPは、ジェトロ青島事務所と山東省関係機関の協力の下、「環境ビジネス商談会」を開催しました。参加企業は、63社（日本側13社、中国側50社）で、合計157件の商談が盛況に行われました。商談案件については、今後、K-RIPのコーディネーター、ジェトロ等が、成約に向けて総合的にサポートしていく予定です。

（参考）平成23年度「九州-山東省（济南）環境ビジネスミッション」の行程

- ◇ 12/14（水）
 - ・出国
 - ・ジェトロ青島事務所によるオリエンテーション
- ◇ 12/15（木）
 - ・現地企業視察（2件）
(濰坊市の企業1件、济南市の企業1件)
 - ・両地域の行政・産業団体トップによる交流促進にむけた協議
- ◇ 12/16（金）
 - ・MOU調印式
 - ・九州-山東省環境ビジネスセミナー
 - ・環境ビジネス商談会
- ◇ 12/17（土）
 - ・帰国

低炭素社会×環境技術

環境イノベーションフォーラム開催

-九州の産地力を高めよ！地場産業と環境技術の地域内セッション-

南九州における農商工連携による新事業創出を目的とした交流型フォーラム「環境イノベーションフォーラム」が平成24年1月26日(木)、延岡市・ホテルメリージュ延岡で行われました。今回も昨年に引き続きK-RIPと九州産業技術センター、九州経済連合会、環境省九州環境パートナーシップ(EPO九州)の主催で開催し、九州の森林資源に関する基調講演と地域課題に応じた環境技術紹介のプレゼンテーションを実施いたしました。参加者は企業、自治体、NPOなど様々な立場の方が111名出席され、盛況のうちに終了しました。

基調講演では九州大学大学院農学研究院の佐藤宣子教授から、「九州の森林と低炭素社会」をテーマに貴重なご講演をいただきました。また、環境技術事例紹介では、黒糖焼酎粕の製品(化粧品)化や木質バイオマスの有効活用、自然を生かした教育等のソーシャルビジネス、下水汚泥のゼロエミッショント等についての発表がありました。

最後に行われた懇親会も多くの方が出席され、交流を深めることができました。



[佐藤宣子氏による基調講演]



[企業によるプレゼンの模様]

九州の企業・団体による環境技術・活動事例紹介

	企業・団体名(所在地)・発表者	テーマ
①	NPO法人九州バイオマスフォーラム(熊本) 事務局長 中坊 真 氏	木を伐る森林保全～薪ビジネスの可能性
②	NPO法人五ヶ瀬自然学校(宮崎) 代表 杉田 英治 氏	五ヶ瀬の環境を生かしたソーシャルビジネスの創出
③	旭化成ケミカルズ(株)(宮崎) 延岡動力部 部長 伊藤 英隆 氏	木質バイオマス混焼発電について
④	(株)アマミファッショ研究所(鹿児島) 研究開発部門 主任研究員 原 晓穂 氏	黒糖もろみエキス～黒糖焼酎粕の高付加価値化への挑戦～
⑤	中山リサイクル産業(株)(福岡) 代表取締役社長 中山 智 氏 住友林業フオレストサービス(株) 森林企画部 課長 石村 藤夫 氏	林地残材の木質バイオ燃料チップ化
⑥	三菱長崎機工(株)(長崎) 環境プラント部 部長 篠原 信之 氏	メタサウルス～下水汚泥のゼロエミッショント技術～

九州経済界との交流イベント

九経連との環境ビジネス交流会開催

－九州経済連合会資源・環境委員会との共同開催事業－

環境ビジネスは、メーカーやリサイクル業者、販売代理店等の関係会社との連携なしに、一社のみで事業化することは極めて困難です。そこで、様々な環境サービスの提供者が多いK-RIPと環境サービスの利用者が多い（社）九州経済連合会の会員企業とのマッチングの機会となるよう、環境ビジネスネットワークづくりの一環として、ビジネスパートナー交流会を開催いたしました。



〔飯塚誠氏による基調講演〕



〔K-RIP企業による製品紹介〕

本交流会は、九経連の資源・環境委員会に合わせて平成23年12月6日に開催し、84名の出席がありました。前半の基調講演では北九州市アジア低炭素化センターの飯塚誠氏より「グリーンイノベーションの創出を目指して」と題して、北九州市アジア低炭素化センターの取組みについてお話をいただきました。

後半のK-RIP企業の環境配慮製品の紹介では、第4回九州環境ビジネス大賞を受賞された（株）エコファクトリーと販路開拓支援事業で採択された3社（研機㈱、西邦機工㈱、㈱チェンジバリュ）がそれぞれの製品・サービスについて発表しました。

また、発表後の意見交換会ではパネルや製品展示を行い、九経連会員企業に対し個別に商品説明するなど、ビジネスマッチング創出の機会となった交流会でした。



〔意見交換会の模様〕

K-RIPプロジェクト募集！！

（募集期間：3月13日（火）から4月6日（金）まで）

K-RIPプロジェクトは、K-RIP会員が実施する、環境産業の育成・振興に係る事業に対し、1件100万円を限度として支援を行う制度です。詳しくは会員の皆さんに郵送しております募集要項をご覧ください。（ホームページにも掲載しています。）

環境ビジネスの見本市でのマッチング支援 「エコプロダクツ 2011」に出展

平成 23 年 12 月 15 日（木）から 17 日（土）の間、「東京ビッグサイト」（東京都）にて、恒例の「エコプロダクツ 2011」が開催されました。今回も自動車・家電等、大手メーカーを含む各企業によるブース出展のほか、「日本発！エコの力で明日を変える—復興に向けてのまちづくりとエネルギー」と称した記念シンポジウムやトークショー、商談会など充実したプログラム構成となっており、来場者は 181,487 人と盛況のうちに終了いたしました。

K-RIP では、エコテクノ 2011（10 月・北九州）、北九州ビジネス交流会（11 月・北九州）に引き続き、会員企業（販路開拓支援事業採択企業：3 社）の出展支援を行いました。



〔見学者で賑わう K-RIP ブース〕



〔視察中の横光環境副大臣に製品を説明〕

【平成 23 年度販路開拓プロジェクトに対する採択各企業のコメント】

今年度の同プロジェクトでは、研機㈱、西邦機工㈱、㈱チェンジバリュの 3 社が採択され、上記展示会における出展支援や九経連との環境ビジネス交流会におけるプレゼン支援など、販路開拓に向けた様々な支援を K-RIP で実施し、現在も成約に向けて各社の商談が継続しております。今年度の支援実施に対し、採択各企業からコメントを頂いておりますのでご紹介させていただきます。

研機株式会社 取締役技術部長 森山 秀行 氏

「他社製バーナーと組み合わせた燃料化システムに対しては、それほど反応はなかったものの、当社で製造している乾燥機単体へのお問い合わせが、エコプロダクツ 2011 に来られた JETRO 様や大手総合商社様からあり、現在対応中です。同展示会には K-RIP の山東省ミッションと重なったため参加できず、商品の展示のみとなりましたが、K-RIP 様に商品説明をして頂いたことで商談案件につながりました。」

西邦機工株式会社 営業部顧問 山下 隆三 氏

「エコプロダクツ 2011 では、家庭用コンポスターが上海・香港・シンガポール等の人口密集地域で多くの需要があり、香港の企業様から、今迄見てきた中で弊社製がベストであるとお問い合わせ頂き、現在対応中です。また、孟宗竹揉搗機及びコンポスターを横光環境副大臣にご説明するなど、良い PR ができます」

株式会社チェンジバリュ 代表取締役 杉本 明文 氏

「弊社商品（省エネ管理ソフト）についてはコスト削減効果等ご評価頂いておりますが、私どもベンチャー企業が開発したソフトということで、会社の知名度不足などが営業上の障壁になっていました。今回の販路開拓プロジェクトに採択頂いてからは、K-RIP 様のお名前を使わせて頂くことでこの障壁を克服し、K-RIP 会員のエネルギー・コンサル会社様など、多くの会社に商品のご紹介をさせていただいております」

環境ビジネスの創出と人脈形成の場 「エコ塾」

—毎月第1水曜日開催

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）では九州経済産業局と連携して、環境分野の人的交流、企業間交流の活性化を目的とする、「エコ塾」を毎月1回開催しております。「エコ塾」は、環境関連ビジネスに取り組む企業や環境ビジネスを支援する団体等のプレゼンテーション（毎回2社講演）と講演会後に行います参加自由型の交流会（立食形式）の2部形式となっております。

今回は第55回～第57回までの概要を報告します。

第55回エコ塾

(平成23年12月7日開催)

◆『中空糸バイオリアクターによる高速・高濃度窒素除去システム』

発表者：株式会社 栄電社 バイオ環境グループマネージャー 川路 博文 氏

概要：高速・窒素除去装置「中空糸バイオリアクターシステム」についてご説明いただきました。

「中空糸バイオリアクター」の特徴は、表面積・菌体密度が大きく、中空糸内部からのガス供給により、表面の菌体に効率よくガス供給ができ、これにより窒素処理速度が従来のものより数倍速く、設置のコンパクト化、安価な設備費が可能になったシステムです。

当日は積極的な質問が数多く飛び交い、参加者の関心の高さを伺うことができました。

◆『大気から水を創り出す画期的な技術の案内』

発表者：株式会社ゼックフィールド 代表取締役会長 漆間 直 氏

概要：現在、世界的に水不足の慢性化が問題視される中で、直接大気中の水蒸気を液体化することで、飲料水を創り出すことを可能とした「HI-OASIS」についてご説明いただきました。

さらに当該商品は、日本・台湾でも特許を取得されています。

本製品はフィルターや煮沸殺菌により水道法水質基準を満たした安全な清浄水を創り出すだけでなく、冷水・温水、空気清浄、除湿等の機能を兼ね備え、さらに災害対策等にも貢献可能であるため、この画期的な技術が参加者の関心を大いに集め、活発な質疑応答が行われました。



講演中の㈱栄電社 川路氏



講演中の㈱ゼックフィールド 漆間氏

第 56 回工コ塾

(平成 24 年 1 月 11 日開催)

◆『パーク（樹皮）を用いた発酵熱エネルギーの利用～未使用バイオマスの新しい取組～』

発表者：株式会社 吉良セイシヨー 代表取締役 田中 勝美 氏

概 要：「パーク（樹皮）を用いた熱利用」についてご説明いただきました。

平成 23 年 6 月に大分の木材市場と連携し、パーク（樹皮）を用いた熱利用を目的に堆肥化をスタートさせ、結果として、堆肥発酵熱が 80 度以上、かつ、5 ヶ月以上維持継続するという結果が得られております。

この発酵熱は農業分野、具体的にはハウス暖房費節減等に利用することができ、さらには融雪や温泉、床暖房・乾燥機などあらゆる分野においても利用出来る可能性を秘めているということもあり、参加者の関心を促す講演でした。

◆『環境に優しい安心・安全な水質浄化剤「アクアリフト」について』

発表者：アクアテクノス株式会社 取締役 上原 功暉 氏

概 要：環境に優しい天然バクテリアを主成分としたバイオ製剤「アクアリフト」についてご説明いただきました。

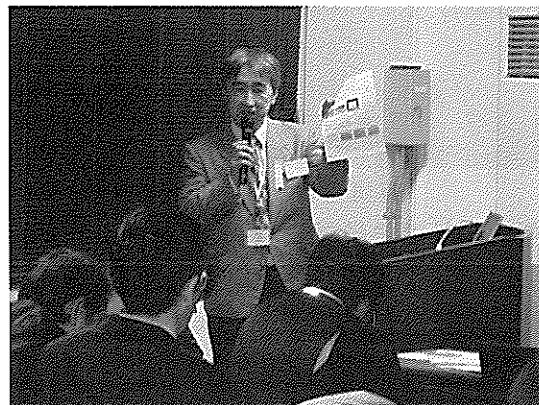
湖沼、海、河川、側溝、浄化槽等あらゆる水質環境を改善し、福岡市の大濠公園をはじめ、西日本エリアの自治体、企業、寺院、個人様と幅広く実績を残していらっしゃいます。

特に硫化水素の分解には大きな効果があり、かつてない透視度を実現することで、各地域での反響も大きいようです。

水質以外でも、樹木の再生、堆肥発酵促進、悪臭抑制など、その用途の広さに多くの参加者が興味を持たれていました。



講演中の(株)吉良セイシヨー 田中氏



講演中のアクアテクノス(株) 上原氏



講演会の風景

第57回エコ塾（拡大版エコ塾 in 長崎）

(平成24年2月14日開催)

九州全域にエコ塾の輪を広げるために、平成20年度より毎年1回拡大版と称して、福岡県以外の九州の他県においてエコ塾を開催しております。

今年度は長崎県にて「平成23年度拡大版エコ塾 in 長崎」を開催しました。講演会、交流会と多数の方が参加され、異業種の方・県外の方との交流を深めることができ、盛況のうちに終了いたしました。

※詳しい内容をお聞きになりたい場合は、K-RIP事務局までご連絡下さい。事務局から講演者に連絡を取ります。

【開催内容】

◆開催日時：平成24年2月14日（火）

14:00～17:00（講演会）／17:30～19:00（交流会）

◆会 場：ホテルニュー長崎 3階 凤凰の間 東（講演会）／丹頂の間（交流会）

◆参 加 者：85名（講演会）／46名（交流会）



講演会の風景



交流会の風景

【企業4社による講演】

◆「世界初！ラマンプラスチック識別技術開発と今後」

講演者：株式会社 サイム 代表取締役 土田 保雄 氏

概要：ラマン散乱により超高速でプラスチックを識別し回収するという世界初の技術についてご説明いただきました。

資源の乏しい日本では先端的なりサイクル技術は、国内需給バランスのみでなく、国際的な経済戦略においても重要となっています。家電リサイクルで大量に処分される混合プラスチックは、そのほとんどが埋め立て・焼却されている現状です。

本製品は、製薬・食品といった全品検査や厳しい異物除去が求められる業界においても活用可能であり、多くの参加者が興味を持たれていました。

◆「既存の水車を使ったピコ水力発電装置1kW(小水力発電の1/1000)について」

講演者：株式会社 元島工作所 代表取締役 元島 文治 氏

概要：自動車用オルタネーター式のピコ水力発電装置(1kW)についてご説明いただきました。

水車利用の水力発電は、昨今、再生可能エネルギーの必要性が再認識される中、天候に左右されやすい他の再生可能エネルギー（太陽光、風力）と比べ、24時間稼動可能のクリーンエネルギーであり、既存の水車に装置を設置する場合は工期が短く、設備も単純なため修理が容易で維持が安価という特徴を活かした発電装置は参加者の関心を大いに集める講演でした。

◆「紙おむつリサイクルを活用した社会システムの構築」

講演者：トータルケア・システム 株式会社 代表取締役 長 武志 氏

概 要：「回収システム」、「水溶化処理システム」、「再資源化システム」が一体となって機能する「紙おむつリサイクル」のシステムについてご説明いただきました。

平成 17 年 4 月より水溶化処理事業を開始され、平成 23 年 3 月一般廃棄物処理施設の認可を得たことで、大木町（福岡県三潴郡）における自治体初の紙おむつリサイクル事業がスタートしました。

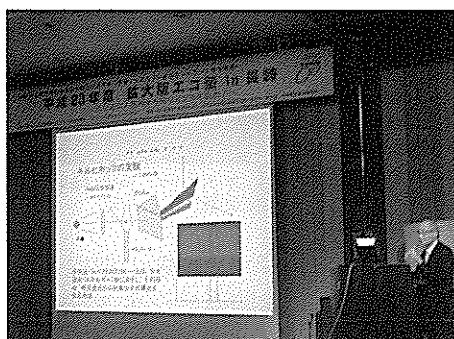
時代の変遷の中で、地域社会との交流が希薄になりがちな高齢者家庭、介護家庭等へ紙おむつの宅配、回収等の物流を通して安否確認等を行う地域の見守り社会システムを構築し、資源循環型の社会を目指すといいう素晴らしい理念・取組を聞くことができ、参加者の関心を大いに集め、活発な質疑応答が行われました。

◆「環境ビジネスの変遷～北九州市からアジアへ～」

講演者：環境テクノス 株式会社 経営戦略室 室長 鶴田 直 氏

概 要：昭和 40 年代、当時公害の町として知られていた北九州市が今日、公害を克服し環境モデル都市にまで発展するに至った経緯の中で、環境ニーズに添った環境総合コンサルタント（分析・測定、調査・アセスメント、海外展開、省・新エネ、低炭素関連の調査・評価・企画等）の業務展開についてご説明いただきました。

事業エリアは九州を拠点に国内だけでなく中国にも事業所を設立し、幅広い展開を行っており、海外展開の成功事例として大変参考になる講演でした。



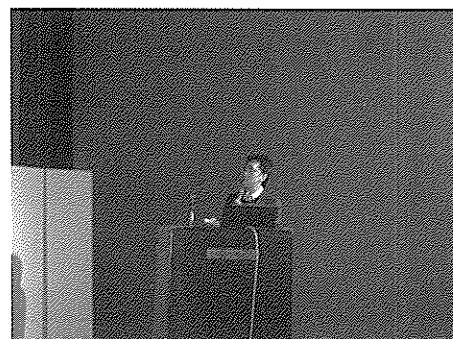
講演中の(株)サイム 土田 氏



講演中の(株)元島工作所 元島 氏



講演中のトータルケア・システム(株) 長 氏



講演中の環境テクノス(株) 鶴田氏

平成 24 年度よりK-RIPホームページがリニューアルします。

環境産業の活性化を目指して、見やすい！使いやすい！

役に立つ情報が満載です。是非、ご覧下さい！

<http://www.k-rip.gr.jp/>

～企業の環境エネルギービジネスへの展開のために～ 「環境エネルギーセミナー」を開催

平成24年2月20日(月)、博多都ホテル(福岡市博多区)孔雀の間において、「K-RIP環境エネルギーセミナー」を開催しました。

当日は、「環境エネルギー分野」での新たな事業展開や販路拡大に取組む企業、関係機関等から140名を超える参加者がありました。環境エネルギービジネスの第一線で活躍されている有識者の国内外での取組等に関する講演や講演者と参加者によるビジネス参入への課題・解決等について意見交換を行い、会場は終始熱気に包まれました。



↑ NEC新事業推進本部 山崎本部長代理による基調講演
「スマートエネルギーソリューションへの取組」



↑ 安川電機環境エネルギー機器事業統括部
山田事業統括部長による講演
「環境エネルギー分野における安川電機の事業展開」



↑ (株)エストー 寺坂経営管理部長による講演
「高精度金型が拓く未来～金型は想像の世界～」

K-RIPは、昨年6月に「環境エネルギー研究会」を設置し、ビジネス課題の把握とソリューション(解決の方策等)について1年間検討した結果について、低炭素関連ビジネス等の市場形成調査等2件の調査事業の成果を踏まえ、報告するとともに、24年度以降の新たな取組として、「K-RIPを拠点とした環境エネルギー市場の拡大」を図るための「3つの方向性」を提案しました。

1. 需要側とのマッチングの場の創設	「九経連をはじめとする管内政策支援団体」、「近畿経済局の環境クラスター」等との連携
2. ビジネスモデルの作り込み	「K-RIPの各種プロジェクトの充実」、「新連携事業などの支援施策」等の活用
3. 海外ビジネス・連合体形成の推進	「グリーンアジア国際戦略総合特区」等との連携

各イベントの詳細な内容は後日、K-RIPホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。

[Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza] (K-RIP)

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)事務局

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2丁目13-24

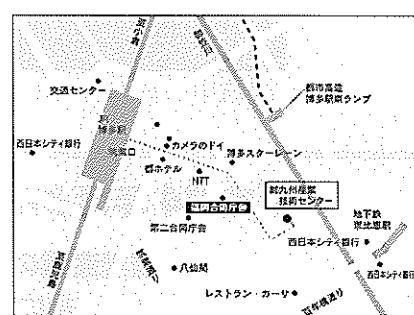
(財)九州産業技術センター内

TEL 092-474-0042

FAX 092-472-6609

URL <http://www.k-rip.gr.jp/>

e-mail info@k-rip.gr.jp



平成24年3月発行